



永井 孝佳 議員

公民連携について

問 本年度4月に設置された公民連携デスクの設置目的と概要を伺う。

答 地域の課題解決や地域活性化、市民サービスの向上などに資する民間からの提案・相談を一元的に受け付け、庁内の関係部署との調整を行うとともに、提案の具体化や実現に向けた伴走支援を行う窓口として設置した。

問 公民連携には規制緩和が必要になってくるケースもあると考える。例えば土地の用途が指定されていたりする場合に、市に一定の利益があれば規制を緩和していく考えはあるか。

答 規制緩和により市民サービスの向上や地域活性化などに高い効果が見込める場合には、事業実施効果と行政としての公平性を総合的に勘案しながら、適切に判断していく。

問 市長に公民連携に対する考えを伺う。

答 公民連携を成功させるには、行政と民間が対等なパートナーと認識し、それぞれの立場を尊重しながら、強い信頼関係をもって取り組むことが大切。まずは公民連携意識を高く持った人材を全庁的に育成していく。さらに、職員だけでなく、地域にも公民連携意識を広めていきたい。

開放学校について

問 開放学校とは、学校の体育館やグラウンドを地域が活用する制度だが、受益者負担として照明電気料を徴収している。子どもが使う場合には無料にしてもいいのではないか。

答 照明電気料は、公平性の維持と健全な財政運営のため、一律に納めてもらっている。引き続き負担をお願いしたい。

問 日中で電気を使わなかった場合は、払わなくていいのか。

答 利用者から提出される照明設備使用報告を基に使用時間を算出し、3か月ごとに納付書により納めてもらっているのので、使わなかった場合には照明電気料は発生しない。



金澤 雅哉 議員

海上公民館の経緯と現状、今後の運営・管理の方針について

問 海上公民館が地域住民の学びや交流の場として果たしてきた役割と、今後の運営方針について伺う。

答 地域住民の学習の場として、教養の向上などに寄与してきた。今後も市民ニーズに対応した各種講座の開催と施設の維持管理に注力していく。

問 利用者が減少する中、公民館の機能向上のため、どのような施設改善を行ったのか。

答 空調設備の改修工事として、エアコン新設等を行った。

問 フリーWi-Fiの「1回30分・1日3回」の利用制限は近隣自治体と比べても厳しくサークル活動に支障が出ているため、緩和できないか。

答 機器の仕様上Wi-Fiに接続できる台数に上限があるため、利用制限をしているが、市民ニーズに沿うよう改善していきたい。

市道の維持・修繕について

問 市道A-1006号線は、舗装の損傷や陥没があり、早急な修繕をすべきと考える。

答 職員による修繕で対応してきたが、損傷が繰り返されるため専門業者による修繕を検討している。

問 事故防止のため、すべての市道で予防保全を行うことが必要であると考えるが、対応できるか伺う。

答 すべての市道を予防保全型の維持管理へ転換することは現状の財源及び体制から現実的ではない。1・2級以外の市道については市民からの日常的な情報提供や巡回点検を通じ、迅速な修繕に努め、安全性の確保を図る。

国土交通省 LINE通報アプリ

道路の破損、汚れ等の異常を発見した際に、LINEによる通報ができます。詳しくは市ホームページをご確認ください。



アプリについて▲